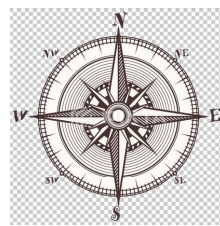


進路通信

羅金針盤

14



苓北町メタバース運動型 エイジテックサービス創出事業

事業目的

高齢者率が高く、高齢者施設も多い特性の苓北町で、これまで整備済のデジタルインフラを有効活用するため、高齢者に係る課題を、メタバースを活用したエイジテックにより解決する仕組みを構築していく

取組内容

①めたばあす課設立 (協議体設立と運営支援)

任意団体「めたばあす課」を開設。課題解決のための素案策定を行う。

②関係者ヒアリング (地域課題の抽出)

「めたばあす課」と連携事業者で、高齢者の生活と健康の課題を抽出。

苓北中での取組

③企画創造ワークショップ (運営体制づくり)

中学校と連携し、VR体験会やアイデア創造のための勉強会を開催する。

④優秀アイデア実証会 (メタバース事業実証)

中学生から出たアイデアを実装。高齢者に使用いただく実証会を実施。

町の課題を次世代が解決！ 中学生が考える、高齢者交流メタバース

ステップA

「高齢者の現状」学習会

「高齢者の現状や身体機能等」の学習をテーマに、地域包括支援センター職員など、現場の専門員に講話をいただき、地元の高齢者の課題を軸に、中学生は地域の課題を学ぶ。この後行われる企画ワークショップに向けての「要件定義」と目指すべき目標を設定する。

ステップB

「メタバース」企画キャンプ

高齢者の現状や外出課題に対しての解決策として、メタバースを活用した世代間交流コンテンツの企画づくりを行う。夏休みの課題等を経てグループワークを実施し、最終的なアイデアを5つ程度絞り込んで、企画コンテストを開催する。

メタバースとは？

メタバースとは、meta（超える）＋universe（宇宙）を掛け合わせた造語で、VR（仮想現実）とブロックチェーン技術を組み合わせた、現実では困難な体験も実現できるデジタル空間のこと。

特徴①

バーチャル体験空間

メタバースは仮想的な世界で、ユーザーは「場所」の制約を超えて自由に移動することができます。

特徴②

コミュニティ交流

ユーザーはリアルタイムで他の人と交流し、共同作業やイベントに参加することができます。

特徴③

外見を自由に選択

ユーザーは自身のアバターを自由に変更することができ、現実では実現困難な経験が可能です。

今年度の実証実験

高齢者の閉じこもりを、メタバース空間上の交流で解消につなげる

※基本的には令和5年度に「めたばあす課」で、課題抽出と解決策を決定し、令和6年度から事業化に向けた実証を行う計画であるが、今年度は先行し1つの実証に取り組むこととする。

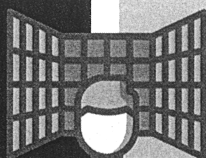
課題設定



他人と会うことが面倒に...高齢者の閉じこもりによる心身の健康不安

町職員・訪問相談員が高齢者を訪問し会話する中で「孤独で不安な気持ちを抱える高齢者の増加」を実感している。

特にコロナ禍により人が集まる機会が減少し、他人に会うことすら面倒になり、閉じこもってしまうケースが増えており、心身の健康不安につながる事が危惧されている。閉じこもり高齢者の気持ちをいかに前向きにして、外に出る（人と会って話す）きっかけを作るかが、課題である。



メタバース活用

課題解決



孤独感からの脱却。外に出て人と会って話す前向きな気持ちを醸成

メタバースを活用した相互コミュニケーションツールにより、仮想空間上での交流の場を提供。直接人と会って話すことのない空間だからこそ、気軽にコミュニケーションを取ることができ、「外に出て人と会話しようと思う前向きな気持ちの醸成」につながっていく。

さらに、高齢者同士だけでなく、中学生との交流も行うことで、メタバースへの拒否感や、消極的な気持ちを取り除くことができ、課題の解決に大きく寄与すると考える。

運営体制の自走化に向けた教育研修支援の一環として、地元の中学生にメタバースと本町の高齢者の課題について学習させ、「閉じこもり解決ワークショップ」を開催。優秀アイデアについて実証を行う

●講師紹介

株式会社 パララボ

代表取締役

メタバースプロデューサー

（苓北町志岐城下出身）

大仁田 英貴 氏



1975年熊本県苓北町生まれ。志岐小学校、苓北中学校を経て天草工業高校に進学。卒業後天草を離れ、福岡市内の専門学校に進み、以後30年を福岡で過ごす。

専門学校卒業後は記録映画製作会社勤務、テレビ制作、CM撮影会社勤務を経て映像作家として独立。福岡県をはじめ自治体や地元の大手企業の広報動画やCM制作など幅広いジャンルの映像制作に従事。日本最大規模のフラッシュモブ動画で注目を集めた。

2017年株式会社コーポ一部設立に伴い、広報部を持たない中小企業の外部広報部として、各種PRツールの制作やアドバイザー業務を開始。2018年より新規事業としてVRの企画プロデュースをスタート。2020年、メタバースのビジネス企画、コンテンツ開発を目的としてparalreal株式会社を設立。現在はメタバースプロデューサーとして、地方自治体のメタバース化や企業のメタバースビジネス企画を行っている。

また、300社の企業会員からなる（一社）九州ニュービジネス協議会へ所属し、人材育成委員会の副委員長として、ベンチャー起業家や大企業の新規事業担当者向けの起業家教育プログラムの運営サポートやプレゼンテーション講師を担当。現在まで100人を超えるリーダーに事業企画の整理やビジョン構築の指導を行っている。

2023年には、熊本県天草市に拠点を構え、デジタル田園都市国家構想交付金の補助を受け、企業誘致のためのサテライトオフィスを整備。福岡と天草をつなぐ定期的なマッチングイベントなどを開催している。

受賞歴】 TOTO Movie Mail「経団連推薦社内報」映像部門「総合賞」
「弥生・土製鋳型を造る」全映協グランプリ 2017「優秀賞」